

UPS（無停電電源装置）キット

クイック インストレーション ガイド UPS T2000用

インストールを開始する前に、 必ずこのカードをお読みください。



本書は再生紙を使用しています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

当社では、本書の内容につきましては万全を期しておりますが、記載もれ等のお気付きの点がございましたら、お買い上げになった販売店へご遠慮なくお申しつけください。また、本書を適用した結果の影響についても責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の内容は著作権によって保護されています。したがって、本書の一部または全部を無断で転載または複製することは法律で禁じられています。

© 1999 Compaq Computer Corporation.
All rights reserved. Printed in the U.S.A.

© 1999 コンパックコンピュータ株式会社

Compaqは米国Compaq Computer Corporationの商標です。

UPS（無停電電源装置）キット
UPS T2000クイック インストレーション ガイド

第2版（1999年10月）
製品番号 341247-022

Compaq Computer Corporation

この装置について

このガイドでは、資格のある担当者がCompaq UPS T2000をインストールするために役立つ手順を説明しています。

警告: 感電や高電圧により、けがをする危険があります。オプションのインストール、この製品の定期点検および保守については、AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。

安全上重要な注意事項

この注意事項を保管しておいてください。このクイック インストレーション ガイドには、UPS T2000のインストールおよびメンテナンス中に守るべき重要な安全上の注意事項が示されています。この製品をインストールする前に『**▲ 安全に使用していただくために**』（UPSキットに同梱）をお読みください。

警告: アース漏電による感電を防止するために、次の点に注意してください。

- 商用電源から切り離されているUPSは動作させないでください。
- UPSを商用電源から切り離す前に、保護されている装置をUPSから切り離してください。
- バッテリーをテストする場合は、UPSをコンセントから外さずに、アラーム停止ボタンを使用してください。パワー プロダクト ドキュメンテーションCDに収録されている『Compaq UPS T2000オペレーション/リファレンス ガイド』の「操作」を参照してください。

注: 装置の定格ラベルは、装置のクラス（AまたはB）を示します。クラスB装置は、ラベルにVCCIのロゴが記載されています。クラスA装置には、ラベルにVCCIのロゴが記載されていません。装置のクラスを確認したら、パワー プロダクト ドキュメンテーションCDに収録されている『Compaq UPS T2000オペレーション/リファレンス ガイド』の「規定に関するご注意」を参照してください。

インストールに関する注意事項

重量

警告: 完全に組み立てられた状態でのUPS T2000の重量は、バッテリーを含めると36kgです。

- UPS T2000の重量
UPS本体 15Kg バッテリー 21Kg

けがや装置の損傷を防ぐために、次の点に注意してください。

- 各地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。
- UPSの設置および取り外し作業中には、必ず適切な人数でUPS本体を持ち上げたり固定する作業を手伝ってください。
- 重量を軽くするために、バッテリー バックを取り外してください。

オプション

UPS T2000には次のオプションが使用できます。

- オプション カード
 - CompaqマルチサーバUPSカード
 - CompaqスケーラブルUPSカード
 - Compaq SNMP-ENアダプタ

インストール方法については、上記のオプション カードキットに付属の専用インストレーション ガイドを参照してください。

UPS T2000の開梱

適切な安全ガイドラインに従って、キットの内容を箱から慎重に取り出します。すべてのコンポーネントが揃っていることを確認してください。

キットの内容

このインストレーション キットには次の品目が含まれています。

ソフトウェア/参照資料

- パワー プロダクト ドキュメンテーションCDには、次の資料が収録されています。
 - 『Compaq UPS T2000オペレーション/リファレンス ガイド』
 - 『Compaqパワー プロダクト ソフトウェア リファレンス ガイド』
- Compaq Power Management CD
 - Compaqパワー マネジメントソフトウェアのインストール要件については、『Compaqパワー マネジメントソフトウェア インストール手順』を参照してください。
- 重要な安全上の注意事項と情報が記載されている『**▲ 安全に使用していただくために**』

ハードウェア

- UPS
- ケーブル
 - UPS T2000には、取り外しできない入力電源コードが1本と、1.8mのUPS/コンピュータ インタフェース ケーブル（製品番号295245-003）が1本付属しています。コンピュータ インタフェース ケーブルは、通常の動作には必要ありません。UPSの電源管理が必要な場合は、インタフェース ケーブルで、UPSの通信ポートとホスト コンピュータのシリアルポートを接続します。

重要: 使用条件に合う電源コードがUPSに付属していない場合は、コンパック正規保守代理店に連絡して、適切な電源コードを入手してください。

必要な工具

コンポーネントを組み立てるために、次の工具が必要になる場合があります。

- 中型のマイナス ドライバ
- プラス ドライバ

UPSを起動する前に

この項では、UPSを起動する前に実行すべきインストール手順について説明します。

次のうちから、使用条件に応じて必要な手順を実行してください。

- 外付バッテリー モジュールを接続する。
- UPSの通信ポートをホスト コンピュータに接続する。
- UPSのサージ プロテクタを接続する。

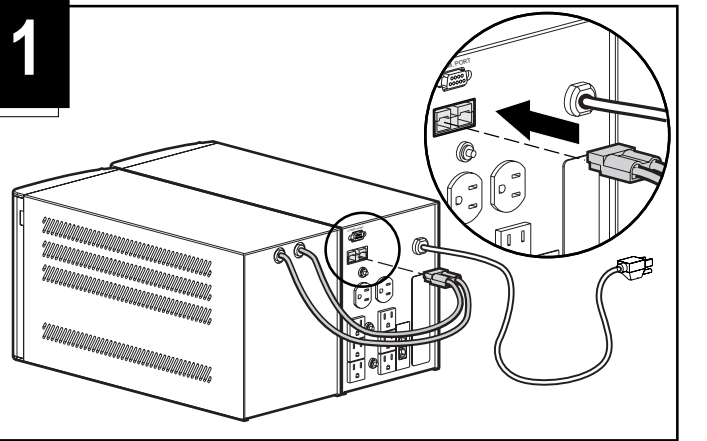
注: これらの手順は、UPSをインストールした後で実行することも可能ですが、その場合は、安全に作業を行うためにUPSの電源を切ってください。

外付バッテリー モジュールの接続

UPS T2000で使用されている外付バッテリー モジュールにより、総重量が分散され、UPSの取り扱いが容易になります。

バッテリー モジュールのバッテリー ケーブルを、UPSのリアパネルにあるバッテリー ソケットに接続してください。

注意: 外付バッテリーをUPSに接続する際に、少量のアーク放電が発生する場合がありますが、これは正常な動作です。アーク放電の量を最小にするには、バッテリー ケーブルをUPSのソケットに素早く確実に挿入してください。



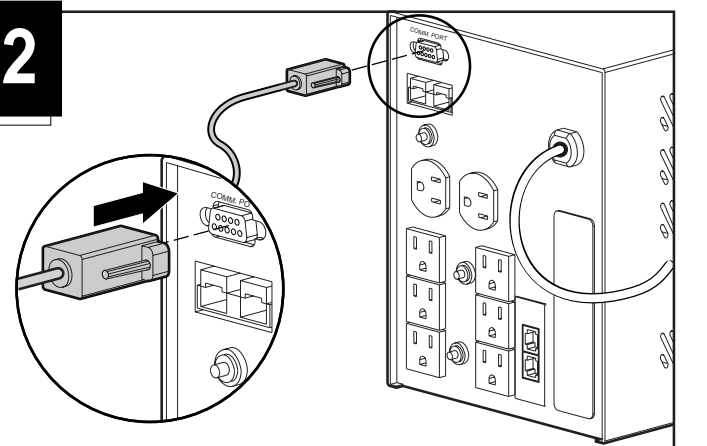
通信ポートの接続

UPS T2000に装備されている通信ポートにより、UPSとホスト コンピュータがデータを交換することができます。

重要: Compaqパワー マネジメント ソフトウェアでは、通信ポートが必要です。

UPS/コンピュータ インタフェース ケーブル(同梱)を、UPSの通信ポートから、ホスト コンピュータの適切な通信ポートに接続してください。

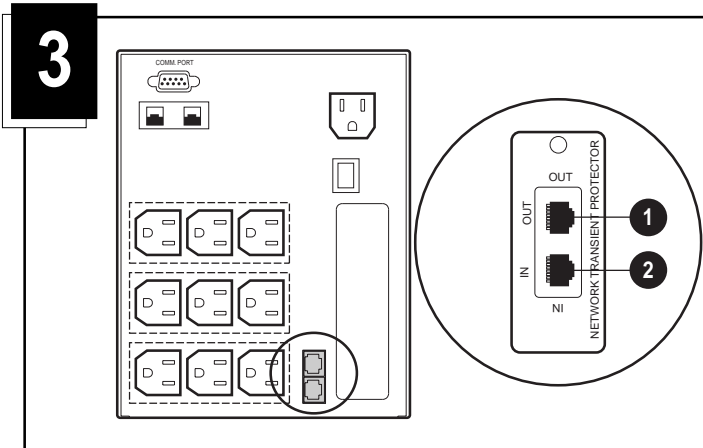
注意: 装置の損傷を防止するために、旧モデルのUPSに付属していた通信ケーブル(製品番号142260-001および142260-002)は絶対に使用しないでください。UPS/コンピュータ インタフェース ケーブルは電力を伝送する必要があるため、以前の通信ケーブルとは配線が異なります。



サージ プロテクタの接続

UPS T2000に装備されているサージ プロテクタにより、UPSは、通信装置をサージから保護することができます。

重要: サージ プロテクタは、標準の電話回線のみで使用してください。デジタルPBXには使用しないでください。



- ① ネットワーク ケーブル OUTジャック
- ② ネットワーク ケーブル INジャック

UPSの起動

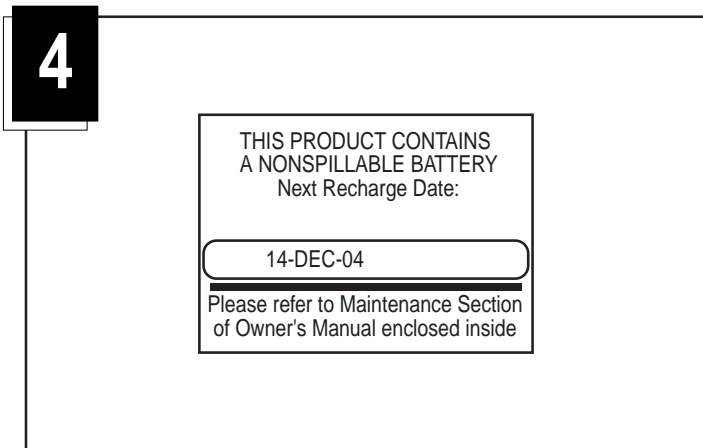
UPSを最初に起動する場合、次の手順に従ってください。

- UPSの梱包箱のバッテリー再充電日付ラベルをチェックします。
- 入力電源コードを使用してUPSを商用電源に接続します。
- 装置をUPSに接続します。
- UPSの電源を投入します。
- 自動セルフテストを監視して、正常にインストールされたことを確認します。

バッテリー再充電日付ラベルをチェックする

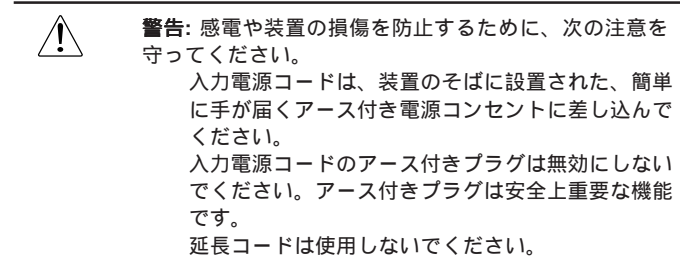
バッテリー再充電日付ラベルに示されたバッテリー再充電日付をチェックします。このラベルはUPSの梱包箱に付いています。

重要: バッテリー再充電日付が期限切れになっている場合は、UPSを使用しないでください。バッテリーを再充電せずにバッテリー再充電日付ラベルに示されている日付を過ぎた場合は、コンパック正規保守代理店にご連絡ください。



UPSを商用電源に接続する

UPSを、アース付きの商用電源コンセントに接続してください。

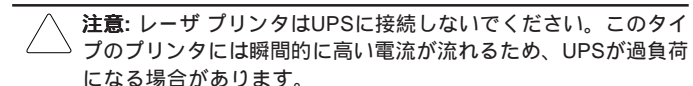
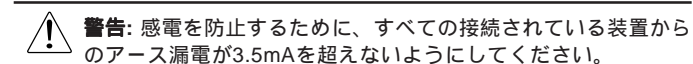


装置をUPSに接続する

装置を接続する前に、装置のVA定格の合計(負荷)が、UPSのVA定格を超えないことを確認して、UPSが過負荷にならないことを確認してください。装置の電力がワット単位で記載されている場合は、次の変換式を使用してください。

ボルト数 × アンペア数 = 装置ごとのVA
ワット数 × 1.35 = VA
VA/1000 = KVA

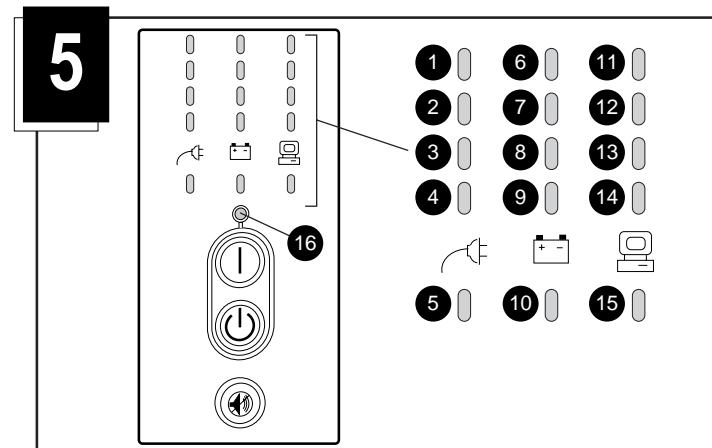
UPSが過負荷にならないことを確認した後は、装置の電源コードを、UPSの適切な出力ソケットに接続します。



UPSの電源を投入する

次の手順に従って、UPSの電源を投入してください。

1. 入力電源コードを使用して、UPSを商用電源に接続します。UPSは自動的にセルフテストを開始します。セルフテストが正常に完了すると、UPSはスタンバイ モードになります。
2. フロント パネルのLEDディスプレイをチェックします。



①-④	入力電圧LED	⑮	通信LED
⑤	配線チェックLED	⑯	オンLED
⑥-⑨	バッテリー充電LED	Ⓐ	オン ボタン
⑩	バッテリー交換LED	Ⓑ	スタンバイ ボタン
⑪-⑭	負荷レベルLED	Ⓒ	アラーム停止ボタン

- LED 16(オンLED)が点灯せず、UPSの出力ソケットで電源が使用できないことを示していなければなりません。
- LED 2または3(入力電圧LED)が緑で点灯して、商用電圧が適切であることを示していなければなりません。
- LED 6、7、8、9は、バッテリーの充電レベルを示します。
 - LED 9は、ローバッテリー状態を示します。約3~5分のバッテリー バックアップしかできません。
 - LED 8 = 33%充電済み
 - LED 7および8 = 66%充電済み
 - LED 6、7および8 = 100%充電済み

フロントパネルのLEDディスプレイの詳細については、パワー プロダクトドキュメンテーションCDに収録されている『UPS T2000オペレーション/リファレンスガイド』の「操作」を参照してください。

重要: フロント パネルのいずれかのLEDが赤になっている場合は(アラーム条件を表しています)、アラーム停止ボタンを押して、赤のLEDを消してください。それでも、赤のLEDが消えない場合は、パワー プロダクトドキュメンテーションCDに収録されている『UPS T2000オペレーション/リファレンスガイド』の「トラブルシューティング」を参照してください。

赤のLEDにはアラーム音が伴う場合があります。アラーム音を消す方法については、パワープロダクトドキュメンテーションCDに収録されている『UPS T2000オペレーション/リファレンスガイド』の「操作」を参照して下さい。

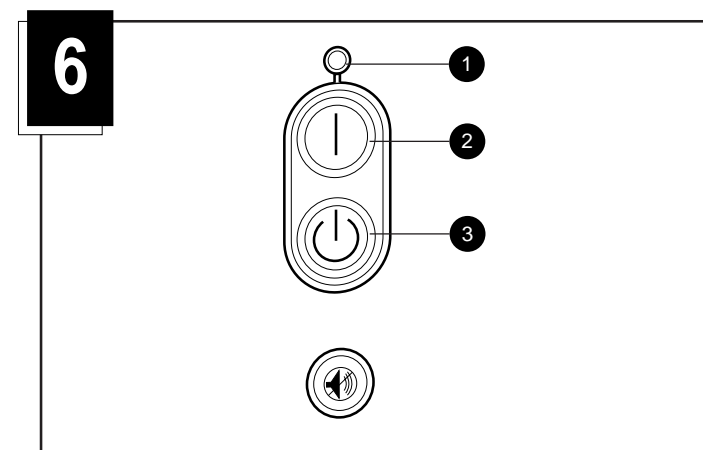
インストールを完了する

UPSの使用を開始する前に、スタンバイ モードでバッテリーを充電してください。

重要: バッテリーは、約4時間以内に容量の90%まで充電されます。バッテリーを使用して装置へのバックアップ電源を供給する前に、24時間充電することをおすすめします。

UPSを動作モードにする

オン ボタン (②) を押し続けます。LED 16 (オンLED①) が緑になり、UPSの出力ソケットで電源を使用できることが示されます。UPSは、短いピープ音で認識したことを知らせます。



①	オンLED
②	オン ボタン
③	スタンバイ ボタン
Ⓒ	アラーム停止ボタン

以上で、インストールは完了です。

- UPSの操作については、パワー プロダクトドキュメンテーションCDに収録されている『UPS T2000オペレーション/リファレンスガイド』の「操作」を参照してください。
- UPSの設定の変更については、パワー プロダクトドキュメンテーションCDに収録されている『UPS T2000オペレーション/リファレンスガイド』の「設定」を参照してください。
- 詳細については、コンパックのWebサイト (<http://www.compaq.co.jp>または<http://www.compaq.com/>) を参照してください。